



Victor

取扱説明書

シアター用リモコン

型名 **RM-A1500**



お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠️ご使用前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に **4 ページ**の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

主な特長

こんなことができます

- このリモコン1つで最大6台の機器が操作可能。
- 主要メーカーのテレビ、ビデオ、DVD、BSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナー、CATVホームターミナル、AVアンプの主な操作を記憶済み。
 - メーカー設定は液晶表示を見ながら対話形式で簡単に設定できます。
- 記憶していない機器も、リモコン信号を学習して操作可能。
 - すべてのボタン(37キー×6台)に学習できます。
- 機器名とボタン名を液晶表示。
 - 記憶済みのボタンはボタン名も記憶しています。
- 何を学習したかがわかるボタン名登録機能。
 - 英数カナで12文字のボタン名が登録できます。
- 連続した操作をまとめて送信できるシステムコントロール機能。
 - よく使う機能を最大10ステップ×6種まで登録しておき、連続送信できます。

(例)

テレビの 電源ON	▶	テレビの 入力切換	▶	ビデオの 電源ON	▶	ビデオの 再生
--------------	---	--------------	---	--------------	---	------------
- 電池が切れても学習した信号やボタン名、メーカー設定などは消えません。

もくじ

最初にお読みください

主な特長	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
乾電池の入れかた	5
はじめに	6
便利な使いかた	7
各部の名称	8
リモコンを使うときには	10
プリセットメーカー一覧表	11

基本操作

メーカーを設定する	12
学習する	14
操作ボタン名を変える	18
各機器の操作ボタン	20

便利な使いかた

表示と異なる機器を設定する	26
機器選択ボタン名を変える	28
システム登録する	30
システム登録に追加する	34
システムコントロールの送信間隔を設定する	36
システム登録内容を一部削除する	38
システム登録内容をすべて削除する	40
送信パワーを切替える	42
オールクリアする	44

その他

故障かな?と思うまえに	46
仕様	裏表紙
アフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

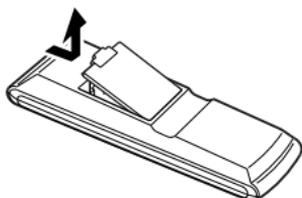
⚠注意



- 指定以外の乾電池は使用しないでください。また種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。乾電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

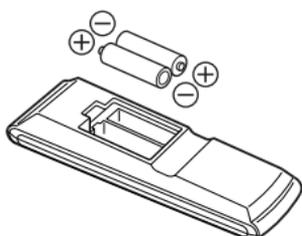
乾電池の入れかた

1 電池ぶたをはずす

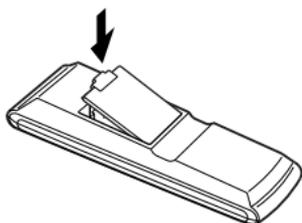


2 乾電池（単3）を2個入れる

- ⊕ と ⊖ の向きに注意してください。



3 電池ぶたを閉める



乾電池の交換時期

- テレビなど操作したい機器に近づかないと操作できなくなったとき。
- 液晶表示に「デンチヨコウカンスル」のメッセージが表示されたとき。

ご注意

操作ボタン(早送り、早戻し、音量大、音量小など)を押し続ける操作を繰り返すと、電池の消耗が激しく、仕様欄に表示されている電池持続時間に比べ、短くなります。

乾電池使用上のご注意

- 乾電池の誤った使いかたをしますと、液もれや破裂する危険がありますので次の点にご注意ください。
 1. 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示どおり正しく入れてください。
 2. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火の中に投入しないでください。
 3. 種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- ※ 付属の乾電池は、動作確認用ですので、新しい乾電池と早めに交換してください。

はじめに

このリモコンを使うには、いろいろな設定が必要です。
次の順序で設定してからお使いください。

1 メーカーの設定をする (12、13 ページ参照)

- このリモコンにはあらかじめ下記のメーカーの機器が設定されています。同じメーカーの機器でも、機種によってリモコン信号が異なる場合がありますので、ご使用の機器が動作しないときには、メーカー設定または学習を行なってください。

お買い上げ時の設定メーカー

機器選択ボタン	設定されている機器	メーカー名
テレビ	テレビ	ビクター
ビデオ	ビデオ	ビクター1
BS/CS	BSデジタル内蔵テレビのBSチューナー部	ビクター1
DVD	DVD プレーヤー	ビクター1
CATV	CATV ホームターミナル	松下1
アンプ	AVアンプ	ビクター

2 必要に応じてリモコンの学習をする (14～17 ページ参照)

- このリモコンにあらかじめ記憶されているボタン以外の操作をしたいとき、あるいはご使用の機器のメーカー設定が正しくできないときには、ご使用の機器の付属リモコンから本機にリモコン信号を記憶させてお使いください。

リモコン信号を記憶させることを学習と呼んでいます。

3 学習したボタンに名前をつける (18、19 ページ参照)

使用上のご注意

- ご使用の機器によっては、メーカー設定だけでは、メニュー操作など機能の一部が正しく動作しないものもあります。その場合には、リモコン信号を学習してお使いください。
- 機器の付属リモコンに無い機能は操作できません。
- 操作ボタンを押し続ける操作を繰り返すと、電池の消耗が激しく、仕様欄に表示されている電池持続時間に比べ短くなります。
- テレビなどの受光部表面がほこりなどで汚れていると、リモコン信号の動作距離が短くなりますので受光部表面を掃除してください。

便利な使いかた

表示と異なる機器を設定する

- 同じ種類の機器を2台以上ご使用のときなどに、機器選択ボタンに表示以外の機器を設定することができます。ただし、テレビ選択ボタンには、テレビしか設定できませんのでご注意ください。設定方法は **26**、**27** ページを参照してください。

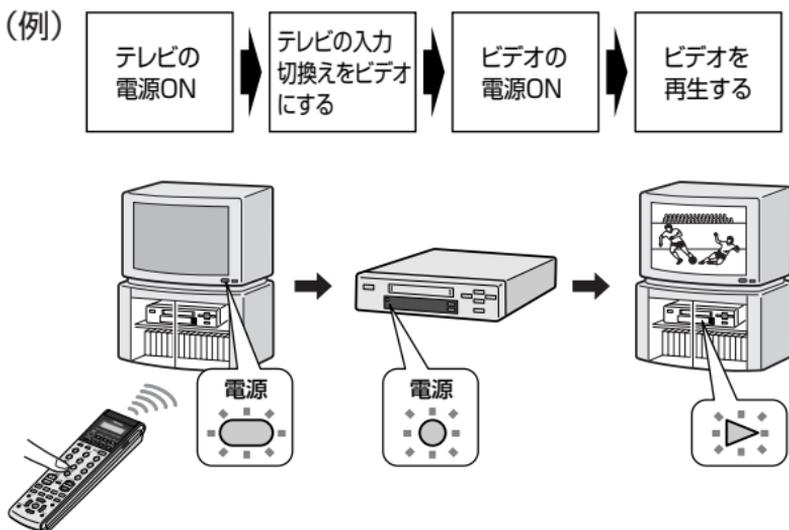
機器選択ボタン名を変える

- 機器選択ボタンに、表示と異なる機器を設定したときなどに、液晶表示部の機器選択ボタン名を変えることができます。設定方法は **28**、**29** ページを参照してください。

システムコントロールについて

- よく使う一連のリモコン操作を、事前に登録しておける機能です。システムボタンを押しながら機器選択ボタンを押すだけで、複数の機器(操作)を連続で操作できます。登録方法は **30** ~ **33** ページを参照してください。

(例)



送信パワーを切替える

- 操作する機器との距離が離れすぎて、機器が動作しにくいときに、リモコンの送信出力を変えることができます。切替え方法は **42**、**43** ページを参照してください。

1 液晶表示部

- 機器名とボタン名を英数カナで表示します。
- ボタン名と機器名は変えられます。(18、28 ページ参照)
- 操作ボタンを押すとボタン名を4秒間表示します。
- 1時間以上ボタン操作をしないと、機器名表示が消えます。

2 機器選択ボタン

- 操作する機器を選びます。(20～25 ページ参照)
- ご使用のシステムに合わせて表示と異なる機器を設定できます。
「表示と異なる機器を設定する」(26、27 ページ参照)

3 操作ボタン(37キー)

- 機器選択ボタンで選んだ機器の操作をするときに使用します。
(20～25 ページ参照)
- 記憶されていない機器も、すべての操作ボタンに学習させることで操作できます。(14～17 ページ参照)

4 システムボタン

- システムボタンを押しながら各機器選択ボタンを押すと、事前に登録した最大10個の信号を自動で連続送信できます。6種類まで登録できます。(30～33 ページ参照)

5 設定ボタン

- 各種の設定をするときに使用します。
 - ・ メーカーを設定する(12、13 ページ参照)
 - ・ 学習する(14～17 ページ参照)
 - ・ 操作ボタン名を変える(18、19 ページ参照)
 - ・ 機器選択ボタン名を変える(28、29 ページ参照)
 - ・ システム登録する(30～33 ページ参照)
 - ・ 送信パワーを切替える(42、43 ページ参照)
 - ・ オールクリアする(44、45 ページ参照)

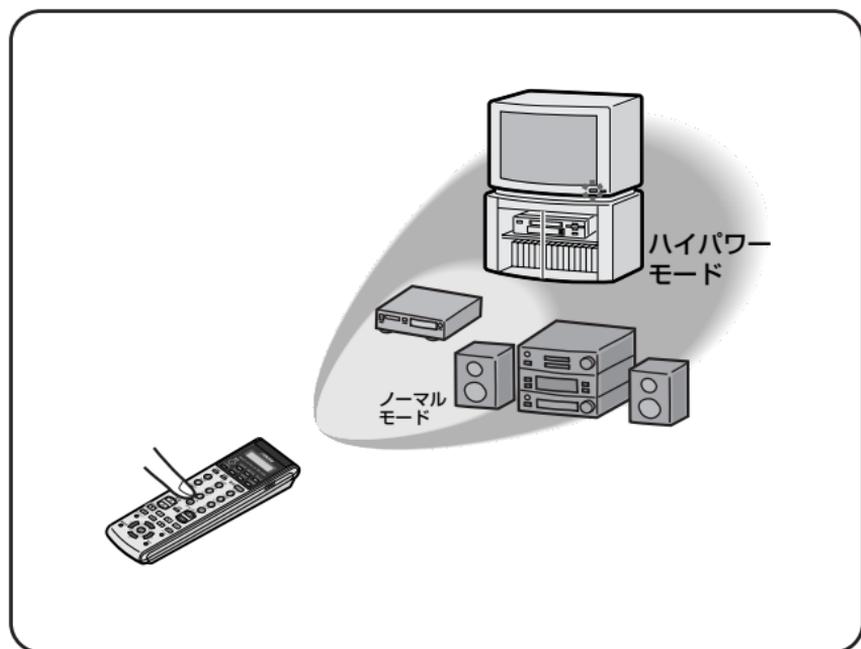
※設定中に設定ボタンを押すと、設定が中止されます。

6 赤外線送信部／学習用受光部

リモコンを使うときには

本機の送信部と、操作したい機器のリモコン受光部の距離を確かめて、できるだけ正面でお使いください。

また、リモコン信号はノーマルモードとハイパワーモードに切替えることができます。(42、43 ページ参照)



- 本機と操作する機器の距離が離れすぎたり、機器のリモコン受光部が物の陰になると、機器がうまく動作しないことがあります。また、同じ条件でもリモコンの動作距離は機器によって差があります。このようなときは、本機または各機器の置き場所や向きに注意し、各機器が動作する状態にしてください。
- お手持ちの機器をスモークガラスのラックなどに入れてお使いの場合、信号が届かないことがあります。
- テレビなどの受光部表面が、ほこりなどで汚れているとリモコン信号の動作距離が短くなりますので、受光部表面を掃除してください。
- テレビなどの受光部で受信感度が低くなっているものもあります。この場合には、リモコン信号の動作距離が短くなります。

プリセットメーカー一覧表

本機には、次の機器メーカーの操作が記憶されています。
メーカー設定をするときの参考にしてください。

プリセットメーカー一覧表

機器名	メーカー名	機器名	メーカー名	機器名	メーカー名	
テレビ	ビクター	ビデオ	マツシタ2	CATV ホームタミナル	トウシバ	
	サンヨー		ミツビシ1		NEC	
	シャープ1		ミツビシ2		パイオニア	
	シャープ2		アイワ1		マツシタ1	
	ソニー		アイワ2		マツシタ2	
	トウシバ	BSデジタル (110度CS 対応機器を 含む)	ビクター1*	DVD	スミトモ	
	NEC		ビクター2		サイエンティフィック ・アトランタ(SA)	
	パイオニア		ビクター3		ビクター1	
	ヒタチ		サンヨー *		ビクター2	
	マツシタ		シャープ1 *		ビクター3	
	ミツビシ		シャープ2		ビクター4	
	アイワ1		ソニー1 *		シャープ	
	アイワ2		ソニー2		ソニー	
ビデオ	ビクター1		トウシバ1 *		DVD	ソニー
	ビクター2		トウシバ2			トウシバ1
	ビクター3	ヒタチ1 *	トウシバ2			
	ビクター4	ヒタチ2	パイオニア1			
	サンヨー1	マツシタ1 *	パイオニア2			
	サンヨー2	マツシタ2	パイオニア3			
	シャープ1	ビクター1	マツシタ1			
	シャープ2	ビクター2	マツシタ2			
	ソニー1	シャープ	サムスン			
	ソニー2	ソニー	LGデンシ			
	ソニー3	トウシバ	ビクター			
	トウシバ1	CSデジタル	ヒタチ	AVアンプ	ソニー	
	トウシバ2		マツシタ		パイオニア	
ヒタチ1	アイワ1		マツシタ			
ヒタチ2	アイワ2		オンキヨー			
マツシタ1	アイワ3		ヤマハ			
				デノン		

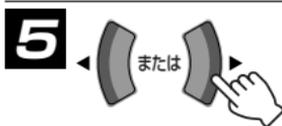
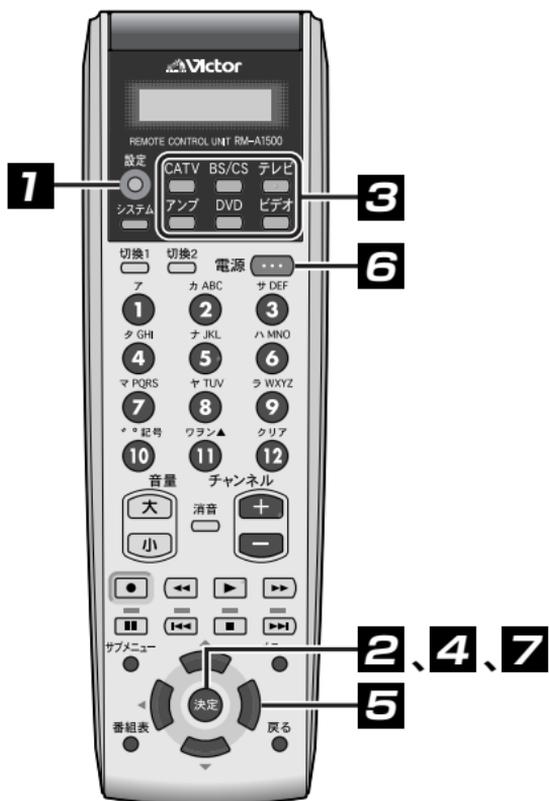
■ は、お買い上げ時の設定メーカーです。

*印は、BSデジタル内蔵テレビのBSチューナー部です。

2003年以降製造のアイワのテレビ、DVDプレーヤーなどの中にはソニーのリモコン信号で動作する機種があります。アイワのメーカー設定を行っても、機器が動作しないときはソニーのメーカー設定を行い、その機器が動作するかお試しください。

メーカーを設定する

ボタン操作



メモ

- 手順 **7** の決定ボタンを押す前に、設定ボタンを押すと、メーカー設定が中止されます。
- BS デジタル内蔵テレビの設定は、テレビ部とBSチューナー部の両方での設定が必要です。テレビの設定をした後に、同様にBS/CS選択ボタンなどにBSデジタルの設定をしてください。この時、1台のBSデジタル内蔵テレビで機器選択ボタンを2個使いますので、操作できる機器の台数は減ります。
- 設定しようとする機器の中にリモコン信号が学習されたボタンがあったり、ボタン名が変更されていた場合
 - ・手順 **3** で機器選択ボタンを押すと「セッテイウ ウワガキ」が表示されます。
 - 続ける場合は、▶YES◀表示で決定ボタンを押して、手順 **4** へ進んでください。
 - 中止する場合は、▶NO◀表示で決定ボタンを押してください。

本機には、あらかじめ各メーカーのリモコン信号が記憶されています。
ご使用前に、お使いの機器に合わせてメーカー設定をしてください。

例：松下のテレビが操作できるように設定します。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ ▶

決定ボタンを押す

トウロクシタイ
キキホ' タンヲ オス

テレビ選択ボタンを押す

- ここで設定する機器の選択ボタンを選びます。
- テレビ以外の機器を選んだ場合は、◀/▶カーソルボタンで設定する機器を変えられます。

<キキセンタク>
テレビ'

決定ボタンを押す

- 現在設定されているメーカーが表示されます。

<テレビ' >
ビ' クター ▶

◀/▶カーソルボタンを押してマツシタを選ぶ

- ここで設定するメーカーを選びます。
- メーカーの信号は、11ページのプリセットメーカー一覧表の順番にならんでいます。

<テレビ' >
マツシタ ▶

電源ボタンを押す(テレビが動作するか確認する)

- 「ビクター1」、「ビクター2」のように、設定が複数あるメーカーで正しく動作しないときは、手順 **5** にもどり別の設定を選んでやり直してください。
- 電源ボタン以外のボタンを押しても、リモコン信号は送信されません。

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、[テレビ] (送信モード) に変わったら、設定終了です。

<テレビ' >
セッテイ シュウリョウ



[テレビ']

液晶表示上段の機器名が

[] で囲まれている場合 → 送信モード

< > で囲まれている場合 → 設定モード

テレビが正しく動作するか確認する

- 電源を入れてチャンネル切換やBS選局など、ひとつおりの動作を確認してください。

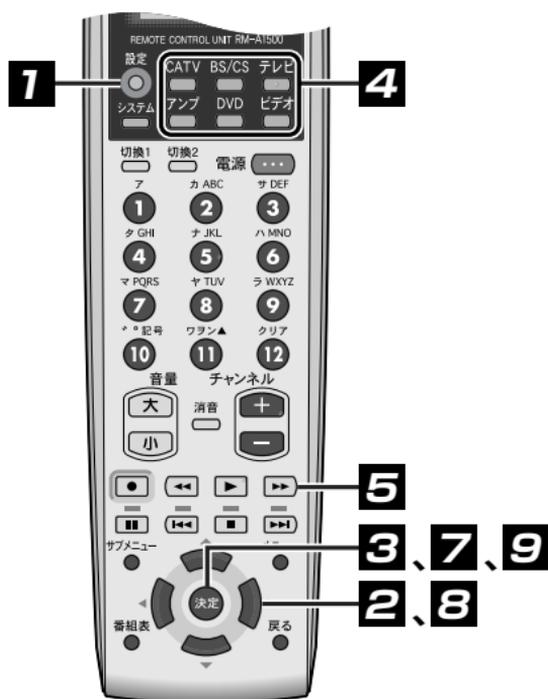
正しく動作しないときは

[学習する]で

学習させてください

14 ページへ

学習する



ボタン操作



上手な学習のしかた

- 学習させたいリモコンの乾電池が消耗していると、学習できなかつたり、または間違った信号が学習される場合がありますので、学習を行うときは、新しい乾電池をご使用ください。
- 本などを用いて本機の受光部と学習させたいリモコンの送信部の高さを合わせ、安定させた状態で学習してください。



- エアコンなど送信出力の大きな機器の場合には、10cm程度離して学習してください。

本機にあらかじめ記憶されている設定以外の操作をしたいとき、またはお使いの機器がメーカー設定にないときは、お使いの機器の付属リモコンの信号を本機に学習(記憶)させて操作することができます。

例：テレビモードの▶▶ボタンに、テレビの音声切換ボタンを学習させます。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ▶

▶カーソルボタンを1回押す

<セッテイモード>
◀カ'クシュ▶

決定ボタンを押す

<カ'クシュ>
キキヲ センタク

テレビ選択ボタンを押す

- ここで学習させる機器選択ボタンを選びます。
機器選択ボタンは押し直してできます。

<テレビ'>
ホ'タンヲ センタク

▶▶ボタンを押す

- ここで学習させる操作ボタンを選びます。
- 30秒以上操作をしないと「ガクシュウエラー」となり、手順 4にもどります。

カ'クシュ タイキ

付属リモコンの[音声切換]ボタンを「ガクシュウシュウリョウ」が表示されるまで押し続ける

ボタン名を変更する場合は、「操作ボタン名を変える」(18、19ページ)の手順 6~8 の操作で変更してください。

フ'ンセキチュウ

カ'クシュウシュウリョウ

<ホ'タンメイトウロク>
—

決定ボタンを押す

セッテイヲ ツツ'ケル
▶YES◀ NO

[学習を終了する場合]

- ▶カーソルボタンで▶NO◀表示を選びます。

セッテイヲ ツツ'ケル
YES ▶NO◀

[他のボタンに学習を続ける場合]

- ▶YES◀表示で決定ボタンを押すと、手順 4 の表示にもどりますので、次に学習させる操作ボタンを選びます。

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、学習終了です。
- 正しく学習されたか、機器を動作させて確認してください。

[テレビ']

学習する (つづき)

学習がうまくできないときは

- 下記の様なエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	原因	対策
ガクシュウエラー	・ 本機の受光部と学習させたいリモコンの送信部の向きや、距離が合っていない。	・ 向きや距離を変えて学習してください。 (14ページ「上手な学習のしかた」参照) ・ 何度学習してもエラーメッセージが表示される場合は、本機では学習できません。
メモリーオーバー	・ 本機の学習容量が一杯になりました。	・ これ以上学習できません。 学習内容を消してもよい機器を再度メーカー設定してください。
300ビットワコエマシタ	・ 不安定な状態で学習された。	・ 安定させた状態で学習してください。 (14ページ「上手な学習のしかた」参照)



以下のような機器をはじめ、特殊な信号を使っている機器では、学習しても正しく動作しません。

- バルコ社製プロジェクター : 2000、3000、5000、8000、9000 シリーズ
'99/10月以前製造のV708MM
- 三菱社製プロジェクター : LVP-L10000、LVP-X100、LVP-X200、D2010
- ケンウッド社製 AV レシーバー : KR-V990D、KRF-V771D
- NEC 社製 AV サーバー : PK-AX10、AX20
- ソニー社製 AV レシーバー : STR-DE345、V535
AV アンプ : TA-E9000ES、V55ES、V777ES

また、業務用機器のリモコン信号にも対応しておりません。

エアコンの学習について

AV 機器以外のリモコン信号も学習させることができます。

- エアコンを停止状態で学習してください。
- 本機とエアコンのリモコン送信部を 10cm 程度離して向かい合わせます。
- エアコンのリモコンには斜め上から向かい合わせないと受光できないものがあります。



学習の操作手順は 14、15 ページの手順 **7** ~ **9** を参照してください。



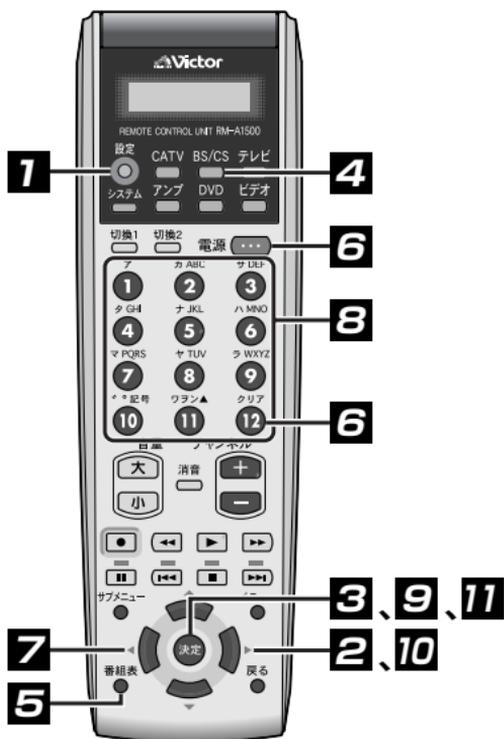
- 1つのボタンで運転/停止が切りかわるリモコンの場合は、<運転>と<停止>両方の信号を別々のボタンに学習させてください。運転/停止以外にも、1つのボタンで異なる動作をさせるものについては、それぞれの信号を別々のボタンに学習させてください。
- エアコンの場合、運転や冷房などの操作ボタンを押すと、その時設定されていた温度や風量などの情報も同時に送信されるため、エアコンの信号は、季節ごとの設定を学習してください。

例えば

冷房の ON、OFF を学習させて、「レイボウ 26 オン」などの様にボタン名を登録してください。

- エアコンの付属リモコンによっては、ボタンを押しそのボタンから指を離れたときに、リモコン信号が送信されるものがあります。
- エアコンの付属リモコンによっては、「送信」ボタンを押さないと、設定した内容をエアコン本体に送信しないものがあります。この場合、設定を行ったうえで、「送信」ボタンを押して学習してください。
- 温度などのセンサー付きリモコンの場合、学習してもエアコン操作ができない場合があります。
- エアコン本体の表示、ランプなども確認してください。

操作ボタン名を変える



ボタン操作

- 1 設定
- 2 3回
- 3 決定
- 4 BS/CS
- 5 番組表
- 6 クリア
- 7
- 8 サ DEF
- 9 決定
- 10
- 11 決定

文字入力一覧表

	押す回数													
テンキー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	1	アイウエオ	アイウエオ											
②	2	カキクケコ	A B C	a b c										
③	3	サシスセソ	D E F	d e f										
④	4	タチツテト	ツ G H	g h i										
⑤	5	ナニヌネノ	J K L	j k l										
⑥	6	ハヒフヘホ	M N O	m n o										
⑦	7	マミムメモ	P Q R	S p q r s										
⑧	8	ヤユヨャュョ	T U V	t u v										
⑨	9	ラリルレロ	W X Y	Z w x y z										
⑩	10	0	* # &	スペース										
⑪	11	ワ	ワ	ワ										
⑫	12	カ	カ	カ										

文字削除・入力

「学習する」で操作ボタンに学習させたときなどに、液晶画面の表示名を自由に変えられます。

例：機器選択でBS/CSを選んだときの番組表ボタンの液晶表示を「バングミヒョウ」から「シュウカンバングミ」に変更します。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ▶

▶カーソルボタンを3回押す

<セッテイモード>
◀ホ'タンメイトウロク▶

決定ボタンを押す

<ホ'タンメイトウロク>
キキヲ センタク

BS/CS選択ボタンを押す

- ここで機器選択ボタンを選びます。

機器選択ボタンは押し直しできます。

<BSテ'シ'タル>
ホ'タンヲ センタク

番組表ボタンを押す

- ここで変更する操作ボタンを選びます。
- 右端の_が点滅表示になります。

<ホ'タンメイトウロク>
ハ'ソク'ミヒョウ

12 (クリア)ボタンを3回押す

- 「ヒョウ」が消えます。
- 12 (クリア)ボタンを押すごとに1文字ずつ削除されます。

<ホ'タンメイトウロク>
ハ'ソク'ミ

◀カーソルボタンを6回押す

- 文字入力位置を決めます。

<ホ'タンメイトウロク>
ル'ソク'ミ

3 (サ DEF)ボタンを3回押す

- テンキーを使って入力します。
- 左ページの文字入力一覧表を参考にし、「シュウカン」と入力します。
- 12文字まで入力できます。
- 押し続けると表示が早く変わります。

<ホ'タンメイトウロク>
シ'ハ'ソク'ミ

決定ボタンを押す

セッテイヲ ツツケル
▶YES◀ NO

[変更を終了する場合]

- ▶カーソルボタンで▶NO◀表示を選びます

セッテイヲ ツツケル
YES ▶NO◀

[操作ボタン名の変更を続ける場合]

- ▶YES◀表示で決定ボタンを押すと、手順4の表示にもどりますので、次に変更する操作ボタンを選びます。

決定ボタンを押す

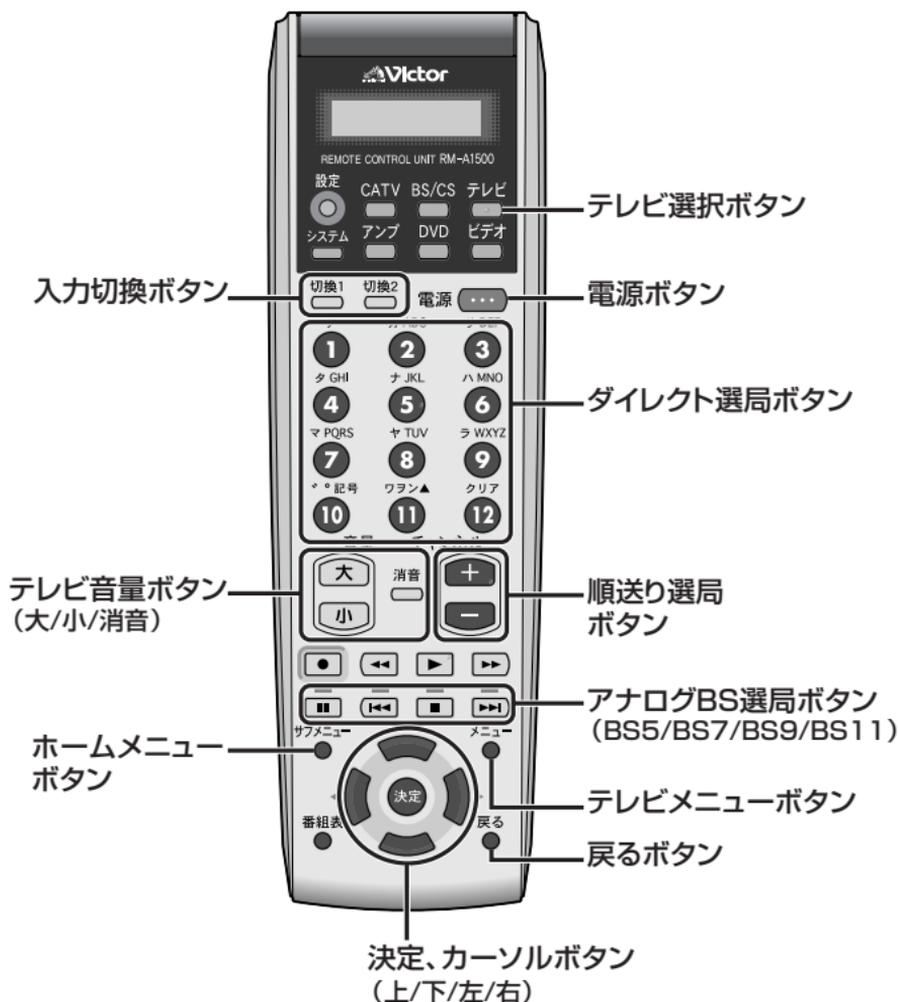
- 液晶表示が、送信モードに変わったら、変更終了です。

[BSテ'シ'タル]

各機器の操作ボタン

テレビの操作

テレビを操作するときは、テレビ選択ボタンを押してから操作してください。下記はお買い上げ時(ビクター製テレビ)の各ボタンの機能です。メーカーにより多少異なります。



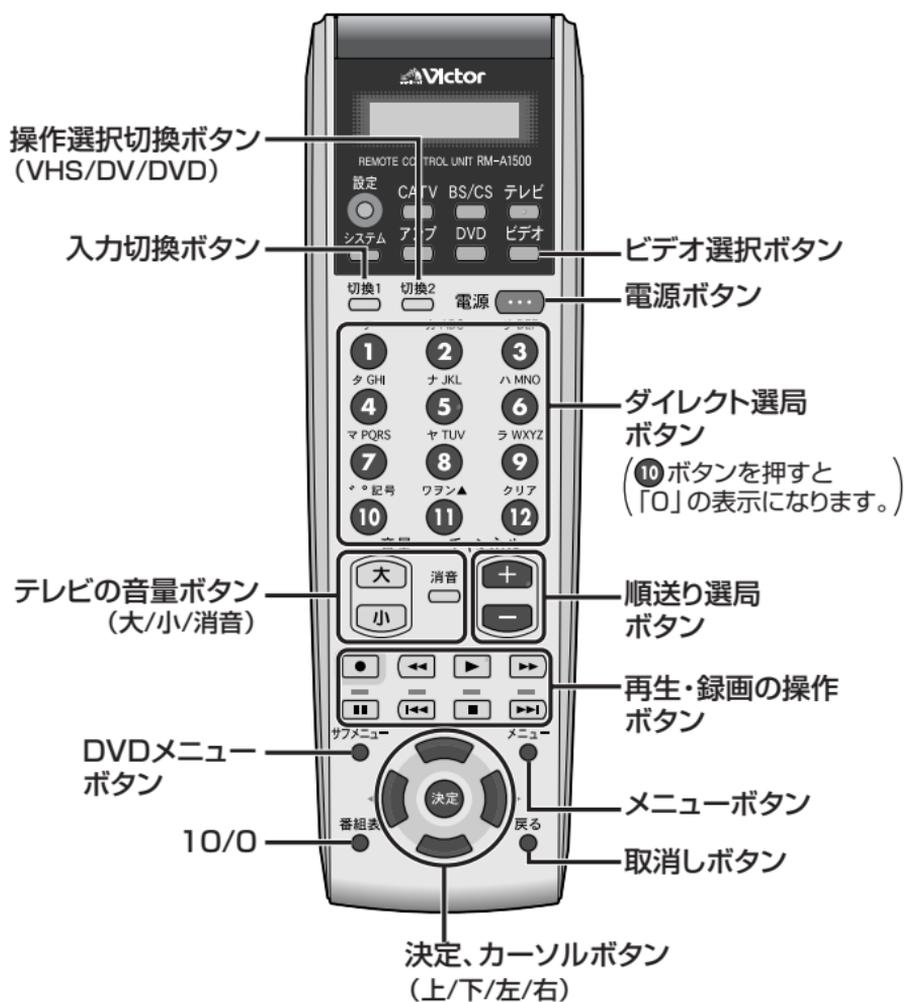
各操作ボタンは、メーカーや機種によって機能の有無や、表示名が異なったりします。機器の取扱説明書をお読みください。

BS デジタルチューナー内蔵テレビでは

テレビの操作をするときは、テレビ選択ボタンを押してから、BS デジタルの操作をするときはBS/CS選択ボタンを押してから操作してください。

ビデオの操作

ビデオを操作するときは、ビデオ選択ボタンを押してから操作してください。下記はお買い上げ時(ビクター製ビデオ)の各操作ボタンの機能です。メーカーにより多少異なります。

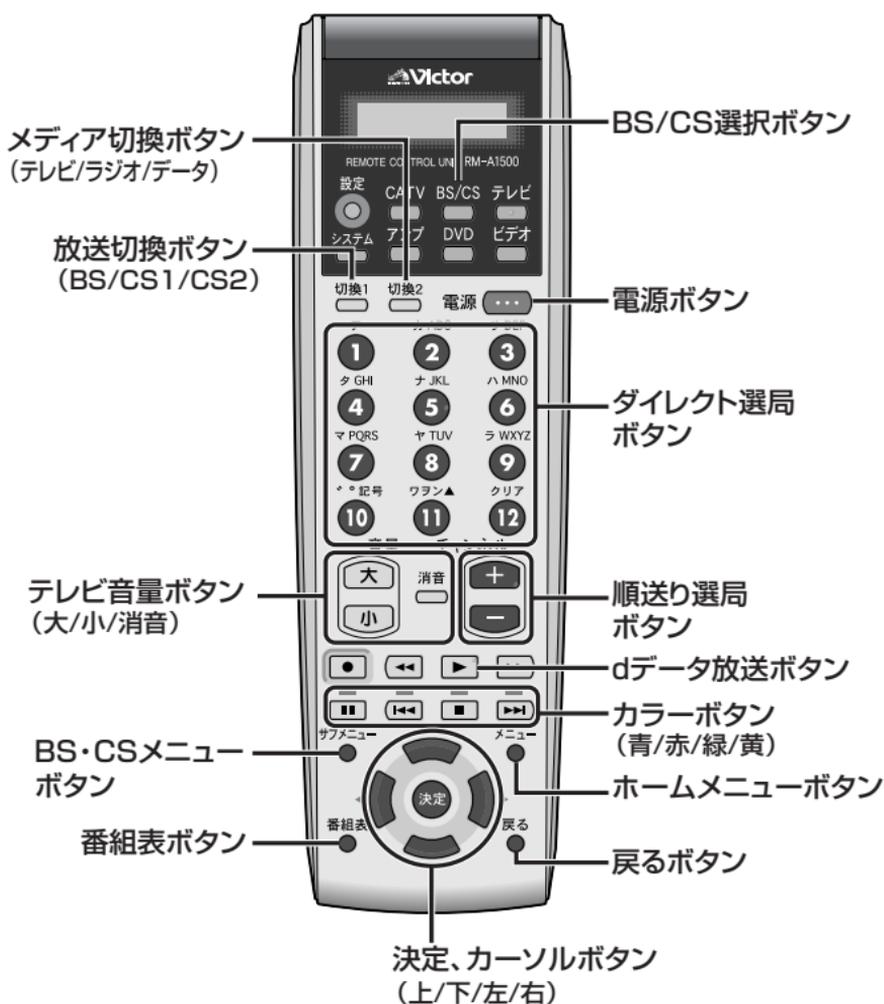


各操作ボタンは、メーカーや機種によって機能の有無や、表示名が異なったりします。機器の取扱説明書をお読みください。

各機器の操作ボタン(つづき)

BS デジタルの操作

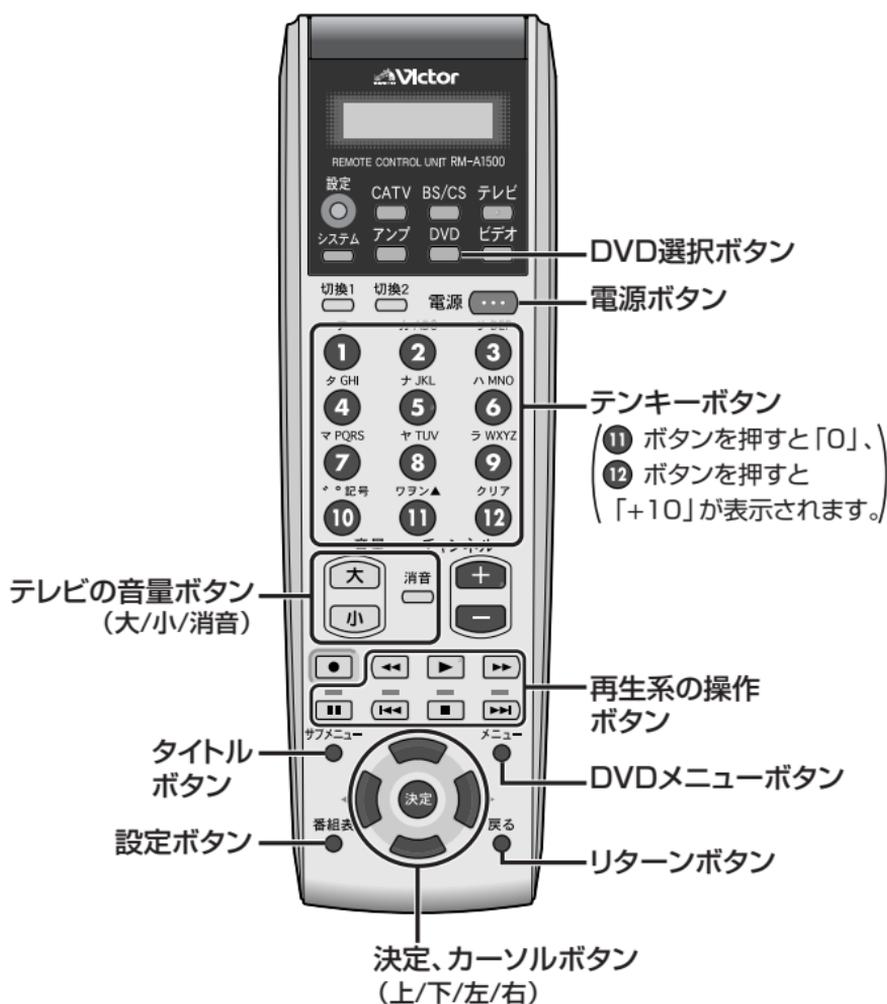
BSデジタルを操作するときは、BS/CS選択ボタンを押してから操作してください。下記はお買い上げ時(ビクター製BSデジタルテレビのチューナー部)の各操作ボタンの機能です。メーカーにより多少異なります。



各操作ボタンは、メーカーや機種によって機能の有無や、表示名が異なったりします。機器の取扱説明書をお読みください。

DVD プレーヤーの操作

DVD プレーヤーを操作するときは、DVD 選択ボタンを押してから操作してください。下記はお買い上げ時(ビクター製 DVD プレーヤー)の各操作ボタンの機能です。メーカーにより多少異なります。

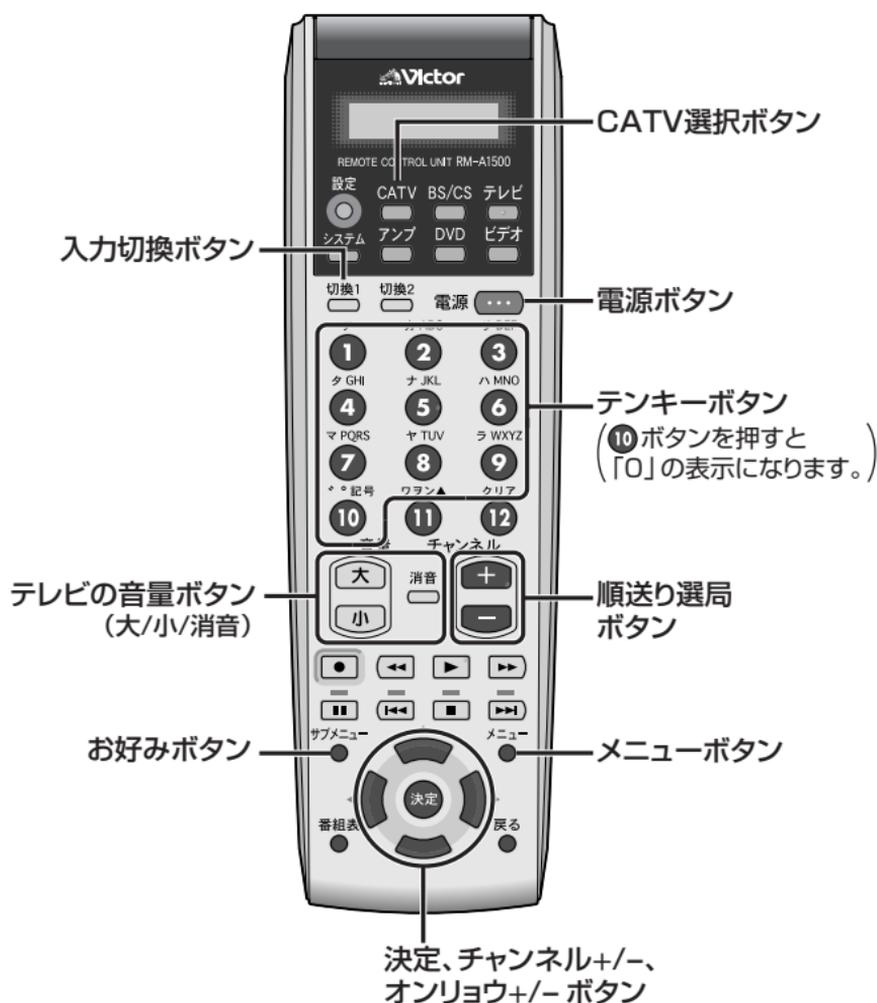


各操作ボタンは、メーカーや機種によって機能の有無や、表示名が異なったりします。機器の取扱説明書をお読みください。

各機器の操作ボタン(つづき)

CATV ホームターミナルの操作

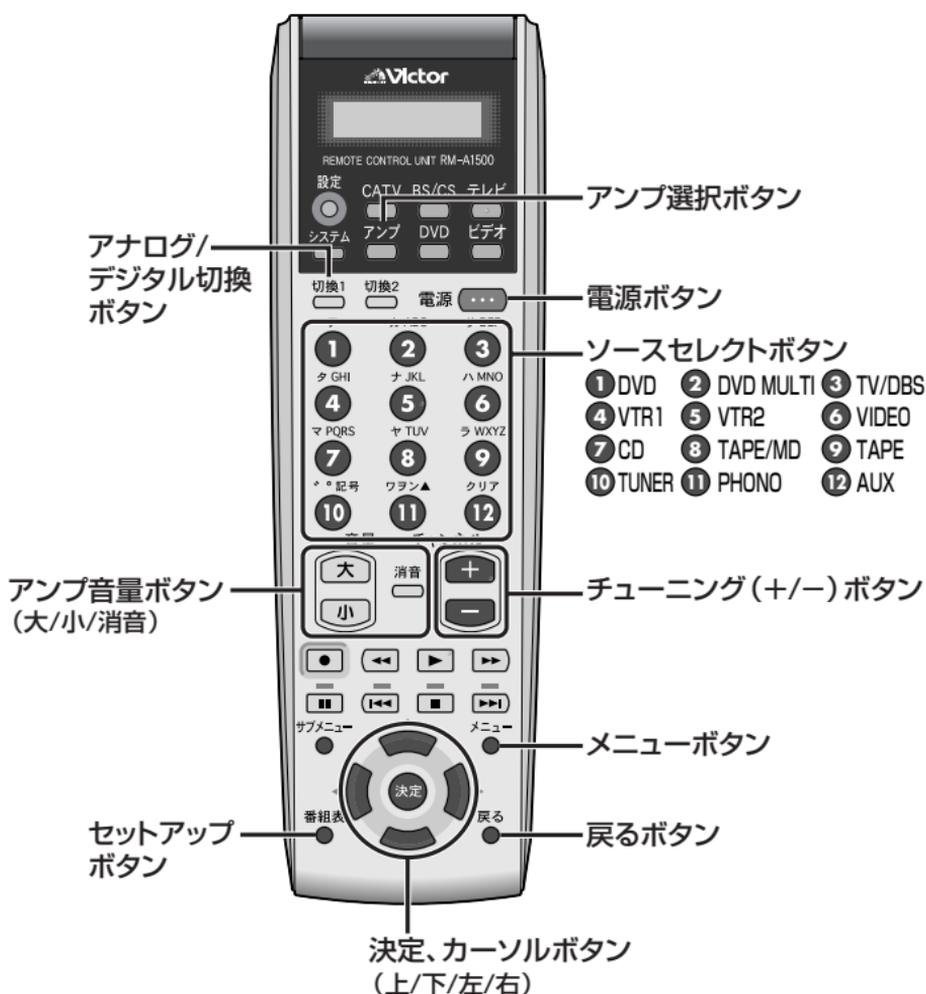
CATVホームターミナルを操作するときは、CATV選択ボタンを押してから操作してください。下記はお買い上げ時(松下製CATVホームターミナル)の各操作ボタンの機能です。メーカーにより多少異なります。



各操作ボタンは、メーカーや機種によって機能の有無や、表示名が異なったりします。機器の取扱説明書をお読みください。

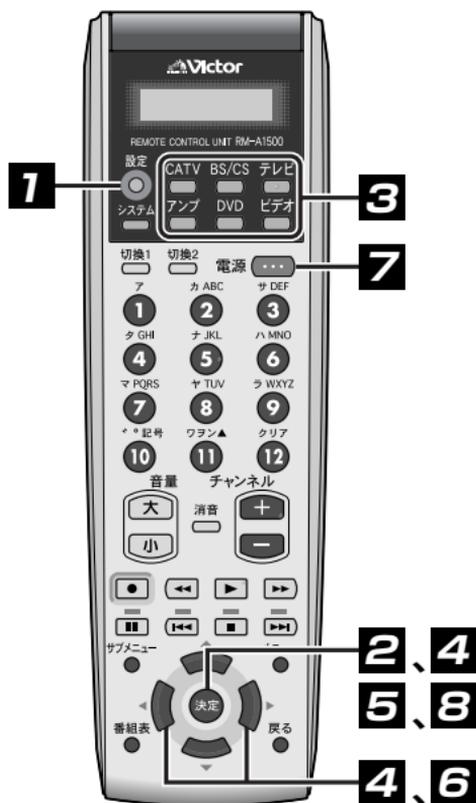
AV アンプの操作

AV アンプを操作するときは、アンプ選択ボタンを押してから操作してください。下記はお買い上げ時(ビクター製AVアンプ)の各操作ボタンの機能です。メーカーにより多少異なります。

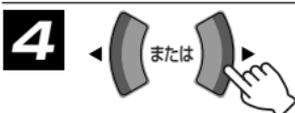
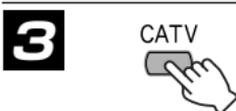


各操作ボタンは、メーカーや機種によって機能の有無や、表示名が異なります。機器の取扱説明書をお読みください。

表示と異なる機器を設定する



ボタン操作



テレビ以外の機器選択ボタンには、表示以外の機器を設定することができます。同じ種類の機器を2台以上お持ちのときなどに便利です。

例：2台目のビデオとして、CATV 選択ボタンに松下のビデオを設定します。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ▶

決定ボタンを押す

トウロクシタイ
キキホ' タンヲ オス

CATV選択ボタンを押す

- ここで設定する機器の選択ボタンを選びます。
- ◀/▶カーソルボタンで設定する機器を変えられます。

<キキセンタク>
◀CATV▶

◀/▶**カーソルボタン**を押して
ビデオを選ぶ

- ここで設定する機器を選びます。

<キキセンタク>
◀ビデオ▶

決定ボタンを押す

<ビ'テ'オ>
◀ビ'クター1▶

◀/▶**カーソルボタン**を押して
マツシタ1を選ぶ

- ここで設定するメーカーを選びます。

<ビ'テ'オ>
◀マツシタ1▶

電源ボタンを押す(ビデオが動作するか確認する)

- 「マツシタ1」、「マツシタ2」のように、設定が複数あるメーカーで、正しく動作しないときは、手順6にもどり別の設定を選んでやり直してください。
- 電源ボタン以外のボタンを押しても、リモコン信号は送信されません。

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、設定終了です。

<ビ'テ'オ>
セッテイ シュウリョウ



[ビ'テ'オ]

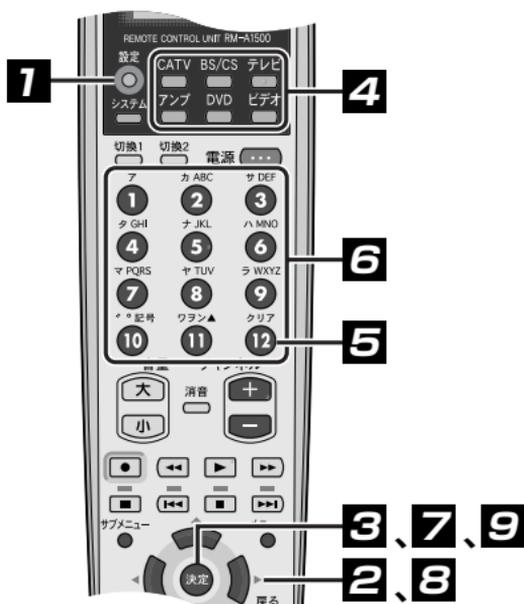
ビデオが正しく動作するか確認する

- 電源を入れてビデオの再生操作など、ひとつおりの動作を確認してください。

機器選択ボタン名
を変えるときは

28 ページへ

機器選択ボタン名を変える



ボタン操作



文字入力一覧表

テンキー	押す回数													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	1	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ
②	2	カキクケコ	ABC											
③	3	サシスセソ	DEF											
④	4	タチツテト	GH											
⑤	5	ナニヌネノ	JKL											
⑥	6	ハヒフヘホ	MNO											
⑦	7	マミムメモ	PQRS											
⑧	8	ヤユヨ	TUV											
⑨	9	ラリルレロ	WXYZ											
⑩	0	° ° . / - + () * # & スペース												
⑪	ワ	ワ	ラン											
⑫	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ



- 入力文字数は 10 文字までです。
- 「TV」のように同じテンキーに割り付けた文字を続けて入力するときは、⑧（ヤ TUV）で「T」を入力後、▶カーソルボタンでカーソルを1つ右に移動させてから再び⑧を押しながら「V」を入力します。

文字削除・入力

機器選択ボタンの表示と異なる機器を設定したときなどに、機器選択ボタンを押したときの液晶画面の表示名を変えることができます。

例：27ページの例で、CATV選択ボタンにビデオを設定したときの表示を「ビデオ」から「マツシタ ビデオ」に変更します。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
<メーカー セッテイ>

▶カーソルボタンを2回押す

<セッテイモード>
<キキメイ トウロク>

決定ボタンを押す

<キキメイ トウロク>
キキヲ センタク

CATV選択ボタンを押す

- ここで表示内容を変える機器の選択ボタンを選びます。

<キキメイ トウロク>
ヒ'テ'オ

⑫(クリア)ボタンを5回押す

- ボタンを押すごとに1文字ずつ削除されます。

<キキメイ トウロク>
*

⑦(マ PQRS) ボタンを2回押す

- テンキーを使って入力します。(「マ」の入力)
- 左ページの文字入力一覧表を参考にし、「マツシタ ビデオ」と入力します。
- ボタンを押し続けると表示が速く変わります。

<キキメイ トウロク>
マ

<キキメイ トウロク>
マツシタ ヒ'テ'オ

決定ボタンを押す

セッテイヲ ツツ'ケル
▶YES◀ NO

[変更を終了する場合]

- ▶カーソルボタンで▶NO◀表示を選びます。

セッテイヲ ツツ'ケル
YES ▶NO◀

[機器選択ボタン名の変更を続ける場合]

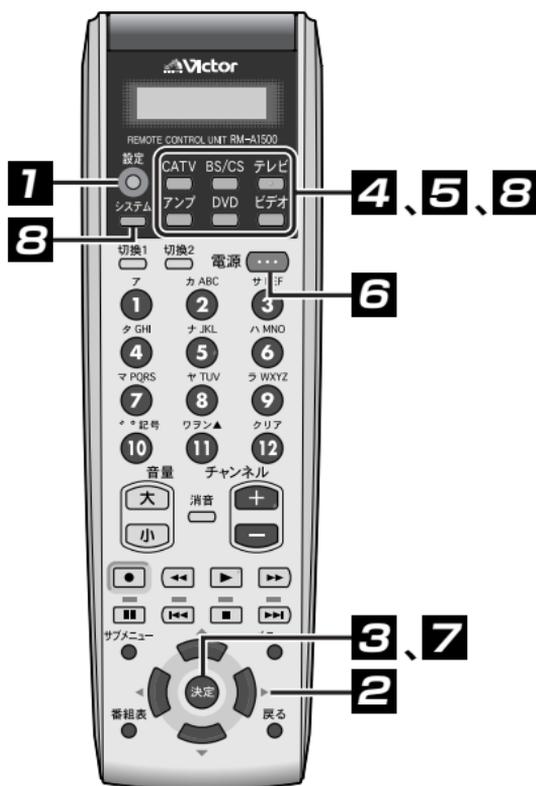
- ▶YES◀表示で決定ボタンを押すと、手順③の表示にもどりますので、次に変更する機器選択ボタンを選びます。

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、変更終了です。

[マツシタ ヒ'テ'オ]

システム登録する



ボタン操作



- 1つの機器選択ボタンに最大10操作分登録できます。
- 事前に33ページの「システム登録表」に操作順を記入し、操作を確認してから登録されることをお奨めします。
- システムコントロールを実行中に、途中で中止したい場合には、もう一度システムボタンを押します。
- システム登録後に、もとの機器ボタン内容を変更すると、システム内容にも反映されます。

よく使う一連の操作を、機器選択ボタンにシステム登録することにより、一度の操作で自動送信できます。

例：ビデオ選択ボタンに、ビデオを見るための操作を登録します。
「テレビの電源→テレビの入力切換→ビデオの電源」

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ▶

▶カーソルボタンを4回押す

<セッテイモード>
◀システム トウロク▶

決定ボタンを押す

<システム トウロク>
トウロクサキヲ センタク

ビデオ選択ボタンを押す

- 登録する機器選択ボタンを選びます。
- すでにシステム登録されている機器選択ボタンを選んだ場合は、「ツイカ」となり、**34、35**ページのシステム登録に追加するととなります。

システム：ヒ'テ'オ
キキヲ センタク

テレビ選択ボタンを押す

- 1番目の機器の機器選択ボタンを選びます。

1：テレビ'
ホ'タンヲ センタク

電源ボタンを押す

- 1番目の機器の操作ボタンを選びます。
- 手順**5**、**6**を繰り返して2、3番目の信号を設定します。
- 信号のないボタンを押すと「シンゴウガアリマセン」の表示が出ます。

1：テレビ'
テ'ンケン



2：
キキヲ センタク

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、登録終了です。
- このときに表示される機器は、システム登録を開始する前に選ばれていたものです。

システム：ヒ'テ'オ
セッテイ シュウリョウ



【ヒ'テ'オ】

システムボタンを押しながらビデオ選択ボタンを押す

- 設定した一連の動作を実行し、送信モードにもどります。
- このときに表示される機器は、システムコントロールを実行する前に選ばれていたものです。

【システム：ヒ'テ'オ】
シ'ッコウ カイシ



【ヒ'テ'オ】

システム登録する(つづき)

ご注意

テレビの入力切替など、押すたびに「テレビ→ビデオ1→ビデオ2」と切替わるボタンを登録すると、正しく動作しないことがあります。付属リモコンに「ビデオ2」などの直接切替えるボタンがあれば、そのボタンを学習してから登録してください。直接切替えるボタンがない場合は、以下の方法を試してください。

例：31ページの登録例の手順**6**でテレビの電源を登録後に、続けてテレビの入力が「ビデオ2」になるように登録する。

ボタン操作

操作内容

液晶表示内容



テレビ

テレビ選択ボタンを押す

- 2番目の機器を選びます。

2 : テレビ
ホ' タンヲ センタク



ア

1

チャンネル1ボタンを押す

- いったんテレビをチャンネル1などの放送画面に切替えるように設定します。

2 : テレビ
1

3 :
キキヲ センタク



テレビ

テレビ選択ボタンを押す

- 3番目の機器を選びます。

3 : テレビ'
ホ' タンヲ センタク



切替1

切替1ボタンを押す

- テレビの入力が「ビデオ1」になるように設定します。

3 : テレビ'
ニューリヨクキリカエ

4 :
キキヲ センタク



テレビ

テレビ選択ボタンを押す

- 4番目の機器を選びます。

4 : テレビ'
ホ' タンヲ センタク



切替1

切替1ボタンを押す

- テレビの入力が「ビデオ2」になるように設定します。
- 同様に機器とボタンを選んで以後の設定を続けます。

4 : テレビ'
ニューリヨクキリカエ

5 :
キキヲ センタク



決定

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、登録終了です。
- システムを実行して、正しく入力切替できるか確認してください。

システム: ビ' テ' オ
セツテイ シュウリョウ

[ビ' テ' オ]

6

7

システム登録表

システム登録する時に、下記の「システム登録表」にあらかじめ登録したい内容を記載して、その順番で操作確認してから登録されることをお奨めします。

システム登録表

登録する機器選択ボタン		
順番	機器	ボタン
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

システム登録表

登録する機器選択ボタン		
順番	機器	ボタン
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

システム登録表

登録する機器選択ボタン		
順番	機器	ボタン
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

システム登録表

登録する機器選択ボタン		
順番	機器	ボタン
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

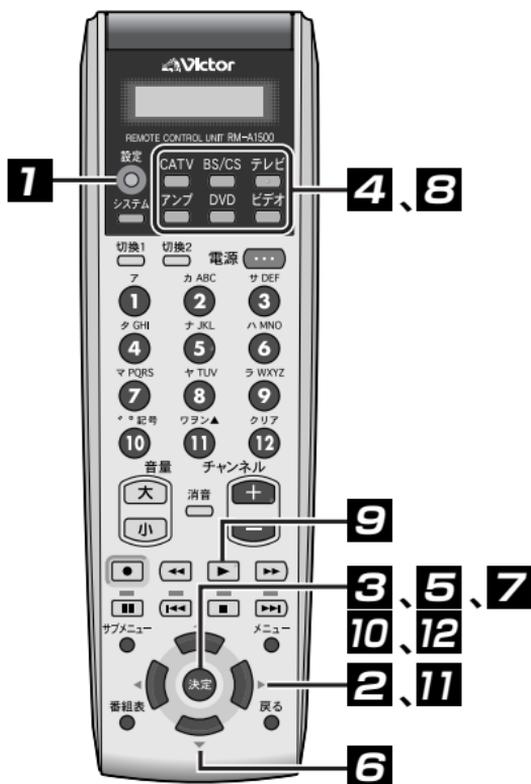
システム登録表

登録する機器選択ボタン		
順番	機器	ボタン
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

システム登録表

登録する機器選択ボタン		
順番	機器	ボタン
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

システム登録に追加する



ボタン操作

- 1 設定
- 2 4回
- 3 決定
- 4 ビデオ
- 5 決定
- 6
- 7 決定
- 8 ビデオ
- 9
- 10 決定
- 11 4回
- 12 決定



システム登録されていないと、手順 **4** で「ツイカ」とはならず、30、31ページのシステム登録となります。

機器選択ボタンにシステム登録した内容に追加することができます。

例 : 31 ページの例で、システム登録されたビデオ選択ボタンに、ビデオの再生を追加します。
「テレビの電源→テレビの入力切換→ビデオの電源→ビデオの再生(追加)」

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ▶

▶カーソルボタンを4回押す

<セッテイモード>
◀システム トウロク▶

決定ボタンを押す

<システム トウロク>
トウロクサキヲ センタク

ビデオ選択ボタンを押す

- 登録されている機器選択ボタンを選びます。

システム:ヒ'テ'オ
◀ ツイカ ▶

決定ボタンを押す

1:テレヒ'
テ'ンゲ'ン

▼カーソルボタンを3回押す

- 追加する場所を選びます。

サイコ':

決定ボタンを押す

4:
キキヲ センタク

ビデオ選択ボタンを押す

- 追加する機器選択ボタンを選びます。

4:ヒ'テ'オ
ホ'タンヲ センタク

再生ボタンを押す

- 追加する操作ボタンを選びます。
- 続けて追加するときは、手順 **8**、**9** を繰り返してください。

4:ヒ'テ'オ
サイセイ



5:
キキヲ センタク

決定ボタンを押す

- この表示で決定ボタンを押すと、手順 **4** の表示にもどり、手順 **5** からの操作になります。

システム:ヒ'テ'オ
◀ ツイカ ▶

▶カーソルボタンを4回押す

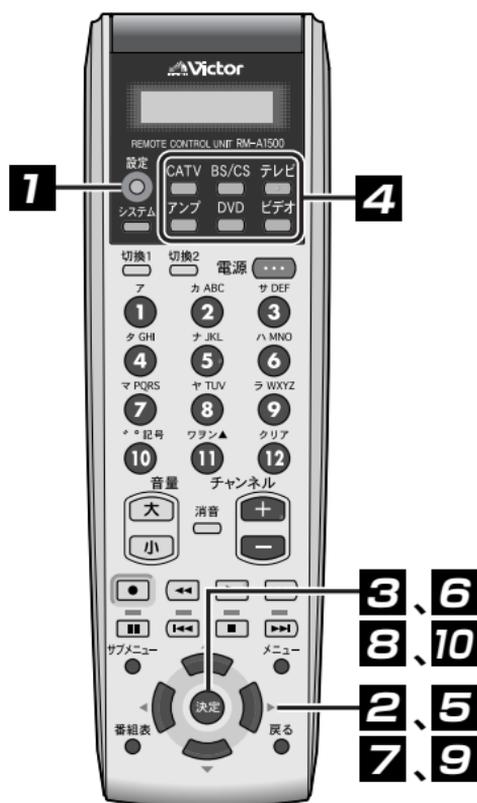
システム:ヒ'テ'オ
◀ シュウリョウ ▶

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、追加終了です。

[ヒ'テ'オ]

システムコントロールの送信間隔を設定する



ボタン操作

- 1 設定
- 2 4回
- 3 決定
- 4 ビデオ
- 5 3回
- 6 決定
- 7 決定
- 8 決定
- 9 決定
- 10 決定



- システム登録されていないと送信間隔の設定はできません。
- 正しく動作しない時は、送信間隔を長めにしたり、信号の順番を変えて試してください。
- 送信間隔の時間は、1つの機器選択ボタンに登録された1システム内で共通です。信号ごとには変えられません。

機器選択ボタンにシステム登録した内容进行操作したとき、正しく動作しないときなどに、送信間隔の時間を1～10秒の範囲で変更されます。
お買い上げ時の設定は3秒です。

例：31ページの例で、システム登録されたビデオ選択ボタンの送信間隔の時間を5秒に変えます。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ ▶

▶**カーソルボタン**を4回押す

<セッテイモード>
◀システム トウロク ▶

決定ボタンを押す

<システム トウロク>
トウロクサキヨ センタク

ビデオ選択ボタンを押す

- システム登録されている機器選択ボタンを選びます。

システム：ヒ'テ'オ
◀ ツイカ ▶

▶**カーソルボタン**を3回押す

システム：ヒ'テ'オ
◀ ソウシン カンカク ▶

決定ボタンを押す

- 現在設定されている送信間隔の時間が表示されます。

システム：ヒ'テ'オ
◀ 3ヒ'ヨウ ▶

▶**カーソルボタン**を2回押す

- ◀/▶カーソルボタンで1～10秒の範囲で設定できます。

システム：ヒ'テ'オ
◀ 5ヒ'ヨウ ▶

決定ボタンを押す

システム：ヒ'テ'オ
◀ ソウシン カンカク ▶

▶**カーソルボタン**を1回押す

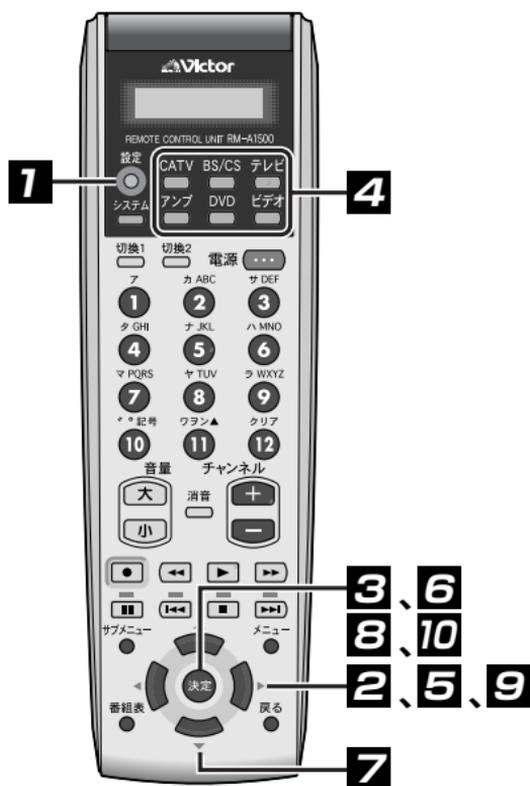
システム：ヒ'テ'オ
◀ シュウリョウ ▶

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、設定終了です。

[ヒ'テ'オ]

システム登録内容を一部削除する



ボタン操作

- 1 設定
- 2 システム 4回
- 3 決定
- 4 ビデオ
- 5 左
- 6 決定
- 7 右
- 8 決定
- 9 左 3回
- 10 決定



- システム登録した内容を直接変更する事はできません。変更する場合は、いったん削除してから追加してください。

機器選択ボタンに、システム登録された内容の一部を削除することができます。

例：35ページの例で、ビデオ選択ボタンに追加された、ビデオの再生を削除します。
「テレビの電源→テレビの入力切換→ビデオの電源→ビデオの再生(削除)」

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ ▶

▶カーソルボタンを4回押す

<セッテイモード>
◀システム トウロク ▶

決定ボタンを押す

<システム トウロク>
トウロクサキヨ センタク

ビデオ選択ボタンを押す

- 登録されている機器選択ボタンを選びます。

システム:ヒ'テ'オ
◀ ツイカ ▶

▶カーソルボタンを1回押す

システム:ヒ'テ'オ
◀イチフ'ショウキョ ▶

決定ボタンを押す

1:テレビ'
テ'ンゲ'ン

▼カーソルボタンを3回押す

- 削除する項目を選びます。

4:ヒ'テ'オ
サイセイ

決定ボタンを押す

- 続けて削除する場合は、手順**6**～**8**を繰り返してください。

4:サイセイ
ショウキョ シマシタ



システム:ヒ'テ'オ
◀イチフ'ショウキョ ▶

▶カーソルボタンを3回押す

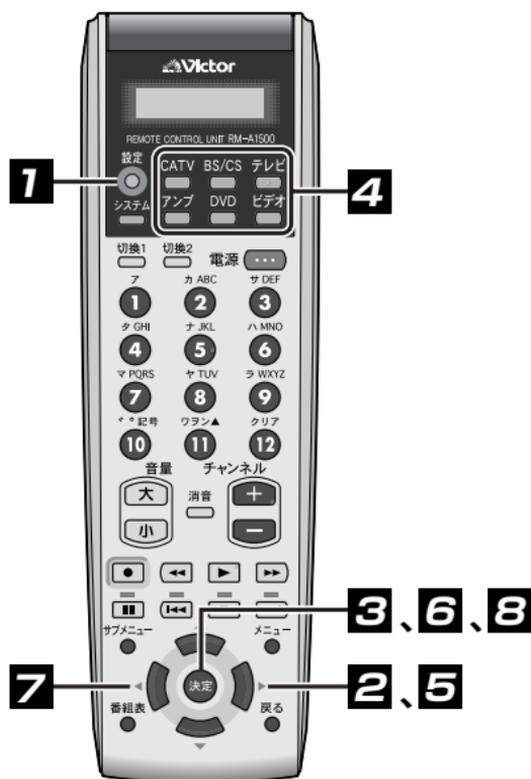
システム:ヒ'テ'オ
◀ シュウリョウ ▶

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、削除終了です。

[ヒ'テ'オ]

システム登録内容をすべて削除する



ボタン操作



機器選択ボタンにシステム登録された内容を、機器選択ボタンごとにすべて削除することができます。

例：ビデオ選択ボタンにシステム登録した内容をすべて削除します。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ ▶

▶カーソルボタンを4回押す

<セッテイモード>
◀システム トウロク ▶

決定ボタンを押す

<システム トウロク>
トウロクサキヨ センタク

ビデオ選択ボタンを押す

- 削除したい機器選択ボタンを選びます。

システム：ヒ'テ'オ
◀ ツイカ ▶

▶カーソルボタンを2回押す

システム：ヒ'テ'オ
◀セ'ン ショウキョ ▶

決定ボタンを押す

- ▶NO◀表示で決定ボタンを押すと手順 **5** の表示にもどります。

セ'ン ショウキョ スル
YES ▶NO◀

◀カーソルボタンを1回押す

セ'ン ショウキョ スル
▶YES◀ NO

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、削除終了です。

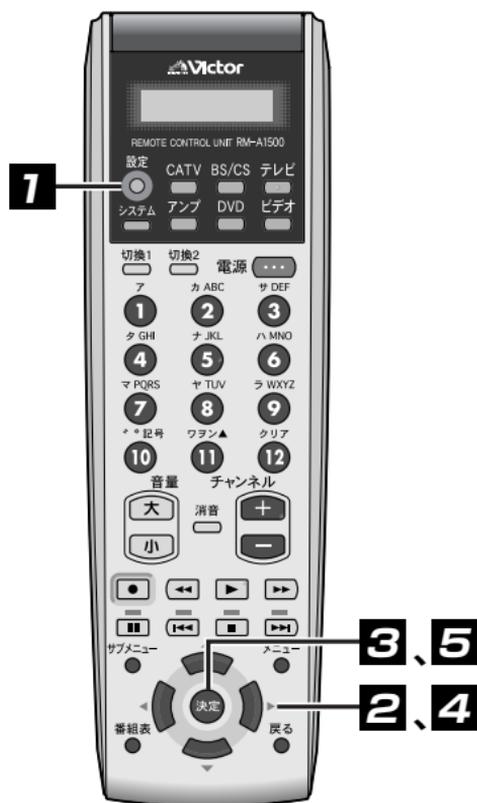
システム：ヒ'テ'オ
セ'ン ショウキョ シマシタ



[ヒ'テ'オ]

送信パワーを切換える

ボタン操作



- システムコントロールを実行する際には、送信パワーの設定に関係なくハイパワーモードで送信されます。

リモコン信号の送信において、ノーマルモードで動作しにくいときに、ハイパワーモードに切換えることで動作しやすくすることができます。お買い上げ時はノーマルモードに設定されています。

例：送信パワーを、ノーマルモードからハイパワーモードに切換えます。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード>
◀メーカー セッテイ▶

▶カーソルボタンを5回押す

<セッテイモード>
◀ソウシン ハイパワー▶

決定ボタンを押す

<ソウシン ハイパワー>
▶ノーマル◀ ハイ

▶カーソルボタンを1回押す

<ソウシン ハイパワー>
ノーマル ▶ハイ◀

決定ボタンを押す

- 液晶表示が、送信モードに変わったら、切換終了です。

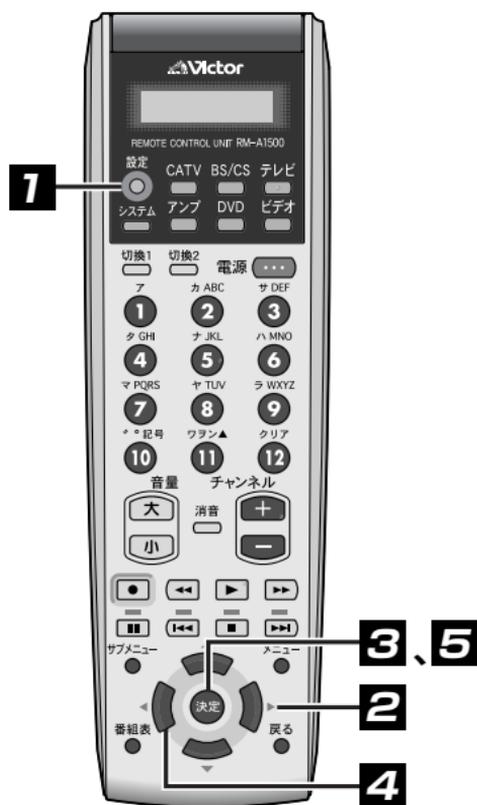
<ハイハイパワー>
セッテイ シュウリョウ



[テレビ]

オールクリアする(お買い上げ時の設定にもどす)

ボタン操作



- 一度オールクリアを実行すると、お客様の設定は、もとにはもどりません。

本機に登録された各種設定を「オールクリア」ですべて消すことができます。オールクリア後は、お買い上げ時の設定にもどります。

操作内容

液晶表示内容

設定ボタンを押し続ける(約2秒)

- 液晶表示が<セッテイモード>に変わります。

<セッテイモード' >
◀メーカー セッテイ ▶

▶カーソルボタンを6回押す

<セッテイモード' >
◀ オールクリア ▶

決定ボタンを押す

ショキカスル
YES ▶ NO ◀

◀カーソルボタンを1回押す

- ▶NO◀表示で決定ボタンを押すと、オールクリアせずに終了します。

ショキカスル
▶ YES ◀ NO

決定ボタンを押す

- 登録された設定内容により、オールクリアが終了するまでの時間に差があります。
- 液晶表示が、送信モードに変わったら、オールクリア終了です。

<オールクリア>
ショキカ チュウ



<オールクリア>
ショキカ カンリョウ



[テレビ']

故障かな？と思うまえに

「おかしいな？」と思ったら、修理に出すまえに次の点を確認してください。

症状	処置	ページ
リモコン操作 ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池が正しく入っていますか？ 乾電池の⊕、⊖の向きを表示どおりに正しく入れてください。 	5
	<ul style="list-style-type: none"> ● メーカー設定はできていますか？ 「メーカーを設定する」をご覧の上、各機器のメーカー設定を行ってください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習しないと使用できない機器があります。 学習してから操作してください。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン信号が目的の機器に到達していない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リモコン信号を遮るものを機器の前から移動してみてください。 ・ ハイパワーモードで操作してみてください。 ・ 本機を目的の機器に近づけてみてください。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤外線方式のリモコン機器をお使いですか？ (電波方式や特殊な信号のリモコン機器を操作することはできません) ご使用の機器の取扱説明書で確認してください。 	42
	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器側の故障などが考えられます。 他のテレビやビデオで確認してみてください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤外線方式のリモコン機器をお使いですか？ (電波方式や特殊な信号のリモコン機器を操作することはできません) ご使用の機器の取扱説明書で確認してください。 	—
リモコン操作が できなくなった (以前は操作できた)	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池が消耗した状態になっていませんか？ 新しい乾電池に交換してください。 	5
	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイパワーモードからノーマルモードに切換えていませんか？ ハイパワーモードにしてください。 	42
	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤ってメーカー設定を変更していませんか？ もう一度メーカー設定をしてみてください。 	12

症 状	処 置	ページ
メーカー設定 ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● メーカー設定モードになっていますか？ 設定ボタンを2秒以上押してから メーカー設定を行ってください。 	12
学習がうまく できない	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いの付属リモコンとの間隔が離 れすぎていませんか？ 本機と付属リモコンを5～10cmの距 離に置いて学習してください。 ● お使いの付属リモコンの乾電池が消 耗していませんか？ 新しい乾電池に交換してください。 ● 赤外線方式のリモコンでない。 学習できません。 ● 一部の赤外線リモコンは学習できな い信号の場合があります。 学習できません。 	14 14 — 16
学習させたが、 機器が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤外線リモコンでも、一部の機器や 特定のボタンで、リモコン信号の情報 が特殊である。 学習できません。 	—
システム登録し たが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● システムボタンを先に押しながら機器 選択ボタンを押していますか？ システムボタンを先に押しながら機器 選択ボタンを押してください。 ● 登録内容が目的の動作のボタン登録 になっていますか？ システム登録の追加などで内容を確認 してください。 ● 機器によっては、最初の信号を受けて から、次の信号を受けるまでに時間の かかるものがあります。 送信間隔の設定を長めに設定してく ださい。 ● システム登録後にもとのボタン内容 を変更していませんか？ システム登録の内容にも反映され ます。 	7 34 36 30

仕様

- 動作距離** : ノーマルモード 約 7 m
(正面軸上、条件により約4 m~8 m)
ハイパワーモード 約 10 m
(正面軸上、条件により約5 m~11 m)
(使用する機器や部屋の条件により距離が変わります)
- 電源** : 単3アルカリ乾電池 2個
- 電池持続時間** : ノーマルモード 約 12 カ月
ハイパワーモード 約 6 カ月
(使用頻度により変わります)
- 外形寸法** : 幅 6.0 cm / 高さ 19.5 cm / 厚さ 3.0 cm
- 質量** : 180 g (付属乾電池含む)
- 付属品** : 単3アルカリ乾電池(動作確認用) 2個

※ 本機の仕様および外観は改善のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

- アフターサービス、またはお手持ちの機器に対してこのリモコンが不適合と思われる場合については、お買い上げになりました販売店にご相談ください。

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03) 5684-9311

FAX (03) 5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

AV & マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12